

7. 計画の推進に向けて

(1) 推進体制と各主体の役割

本計画が目指す緑の将来像「花と緑に囲まれ、憩いと安らぎのあふれた、ガーデンシティと言われるまちになる」の実現に向けては、市民、市民団体、民間事業者、行政が連携しながら、目指すべき方向性とそれぞれの役割を理解し、協働により推進していくことが重要であり、各主体には以下の役割が想定されます。

市民・市民団体

- ▶ 家庭での庭づくりをはじめ、公園や道路の花壇づくりや清掃等、公共空間の緑化活動に参加することや、その活動の運営等、団体として組織的に協力することが期待されます。
- ▶ 公園の利用やイベントへの参加等を通して、一人一人が緑の価値や機能について理解し、主体的に取り組むことで、緑に対する関心を深めていくことが期待されます。

民間事業者

- ▶ 地域における緑の果たす役割について理解し、事業所の敷地内等での緑化に取り組むことが期待されます。
- ▶ 地域への社会貢献として、他の主体との連携による、緑の維持管理活動やイベント等の企画・運営に関わることが期待されます。

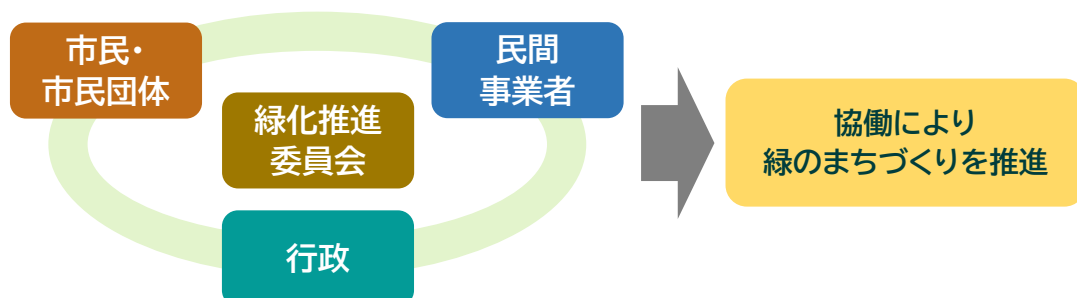
行政

- ▶ 各主体と連携・協力しながら、公園等の整備や維持管理をはじめとする、本計画で位置づけられた各施策を確実に進めていくことが期待されます。
- ▶ 緑に関する活動に対する支援の充実を図るとともに、各主体の連携・協力を図るコーディネーターの役割を担うことが期待されます。
- ▶ 各主体が緑の役割やその重要性に対する理解を高められるよう、緑に関する情報発信や緑と触れ合う機会・場の提供等により、協働による緑のまちづくりの機運を高める役割を果たすことが期待されます。

緑化推進委員会

- ▶ 館林市緑の保護及び緑化推進条例に基づき、市民・市民団体、知識経験者、民間事業者団体等からなる緑化推進委員会により、本市の緑化推進に関する取組への意見具申等や、緑の基本計画の進捗についての評価を行うことで、各種施策の見直しや改善につながることを期待されます。

緑のまちづくりの推進体制イメージ



(1) 推進体制と各主体の役割

1. 緑の基本計画とは

2. 館林市の緑の状況と課題を取り

3. 基本方針、目標の設定

4. 緑地の保全及び緑化推進の方針

5. 都市公園等の機能・配置の検討

6. 緑を守り育てる地区制度

7. 計画の推進に向けて

(2) 計画の進行管理

本計画を実行性の高い計画とするためには、継続的な進行管理が重要です。また、施策の進捗状況や社会情勢の変化等を踏まえ、必要性や効率性を検証し、適宜見直し等を判断することも重要となります。

したがって、本計画の進行管理にあたっては、下図に示すようなPDCAサイクルの考え方に基づき、「計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Action)」を行うことで、効果的な計画の運用を行います。

また、緑に関する施策を円滑に進めるためには、関係部署が密接な連携を図って取り組むことが重要です。公園や都市計画に関わる部署だけでなく、環境、農業、道路、河川、観光、文化振興等、様々な関係部署や他の関係機関等が連携し、総合的に計画を推進・管理していきます。

本計画でのPDCAサイクルによる進行管理イメージ

